

IBM Security Secret Server SaaS

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM Security Secret Server SaaS は、お客様が以下を実行できるようにするソリューションです。

- セキュア・ボルトの確立 - 暗号化された中央制御ボルトに特権資格情報を格納します。
- 特権の検出 - すべてのサービス、アプリケーション、管理者、および root アカウントを特定します。
- 機密事項の管理 - プロビジョンとプロビジョン解除を実行し、パスワードの複雑性を確保し、資格情報をローテーションします。
- アクセスの代行 - 第三者用の RBAC、アクセス要求および承認のためのワークフローをセットアップします。
- セッションの制御 - セッションの起動、プロキシ、モニタリングおよび記録を実装します。

「クラウド・サービス」はテナントごとに 4 GB のストレージを提供します。

「クラウド・サービス」は、10 の「IBM Security Secret Server サイト」に対する使用許諾を提供し、各「IBM Security Secret Server サイト」には 10 個の「IBM Security Secret Server エンジン」が含まれます。「エンジン」は、ディスカバリー、パスワード変更、およびハートビートを実行する「Windows サービス」をいいます。各「エンジン」は 1 つの「サイト」に属します。「サイト」はワークアイテムの論理グループです。管理対象の機密事項すべてに、1 つの「サイト」が含まれます。「エンジン」は「サイト」からワークアイテムをプルして処理を行います。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Security Secret Server SaaS for Business Users

IBM Security Secret Server SaaS for Business Users オファリングは、特権とみなされないアカウントを管理するために使用されます。これらのアカウントには、個人またはチームのアプリケーション・アカウントや資格情報が含まれる可能性があります。特権とみなされないアカウントの例には、電子メールのログイン、ソーシャル・メディアのパスワード、または生産性ソフトウェアの資格情報などがあります。

1.1.2 IBM Security Secret Server SaaS for Privileged Users

IBM Security Secret Server SaaS for Privileged Users オファリングは、データベース・サーバーの資格情報、セキュリティ・アプライアンスのパスワード、「クラウド・サービス」のルート・キー、またはその他の IT インフラストラクチャーの資格情報など、特権アカウントを管理するために使用されます。

1.2 オプション・サービス

お客様は、利用可能な以下のアドオンから選択することができます。

1.2.1 IBM Security Secret Server Sites

IBM Security Secret Server Sites アドオンは、「クラウド・サービス」に含まれる「サイト」の数を増やすために使用されます。

1.2.2 IBM Security Secret Server Engines

IBM Security Secret Server Engines アドオンは、「クラウド・サービス」に含まれる「エンジン」の数を増やすために使用されます。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=4B8D1F20C00511E9908EB999AAEAE31E>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>)の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。

5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。